



平成31年1月分 大分税関支署管内貿易概況

平成31年3月12日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は576.8億円、前年同月比24.9%減、2か月連続のマイナス

船舶類、映像機器、鉄鋼、事務用機器などが減少

有機化合物などが増加

輸入額は1,045.1億円、前年同月比10.2%増、2か月ぶりのプラス

銅鉱、原油及び粗油、石炭、揮発油などが増加

液化天然ガス、液化石油ガスなどが減少

主要品目

(単位:百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	11,399	125.8 ↗	19.8	鉄鉱石	16,107	103.8 ↗	15.4
鉄鋼	16,190	75.5 ↘	28.1	銅鉱	28,067	117.0 ↗	26.9
銅及び同合金	8,655	83.9 ↘	15.0	石炭	15,082	127.6 ↗	14.4
事務用機器	6,228	61.7 ↘	10.8	原油及び粗油	16,450	130.0 ↗	15.7
映像機器	4,385	42.1 ↘	7.6	揮発油	6,965	125.2 ↗	6.7
船舶類	3,774	36.1 ↘	6.5	液化天然ガス	10,165	78.4 ↘	9.7

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

- 大分)** 輸出は534.3億円、前年同月比18.5%減。映像機器、鉄鋼などが減少、有機化合物などが増加
輸入は1,029.8億円、前年同月比10.9%増。銅鉱、原油及び粗油などが増加、液化天然ガスなどが減少
- 佐伯)** 輸出は38.4億円、前年同月比15.8%増。船舶類が増加、魚介類が全減、木材が減少
輸入は13.1億円、前年同月比0.4%減。植物性油かすが全減、魚介類が減少、石こうが全増、船舶類が増加
- 津久見)** 輸出は4.2億円、前年同月比94.7%減。船舶類、セメント、石灰石などが減少
輸入は2.2億円、前年同月比64.0%減。石炭が減少
- 大分
空港)** 輸出入実績なし

港名(通関官署)

(単位:百万円、%)

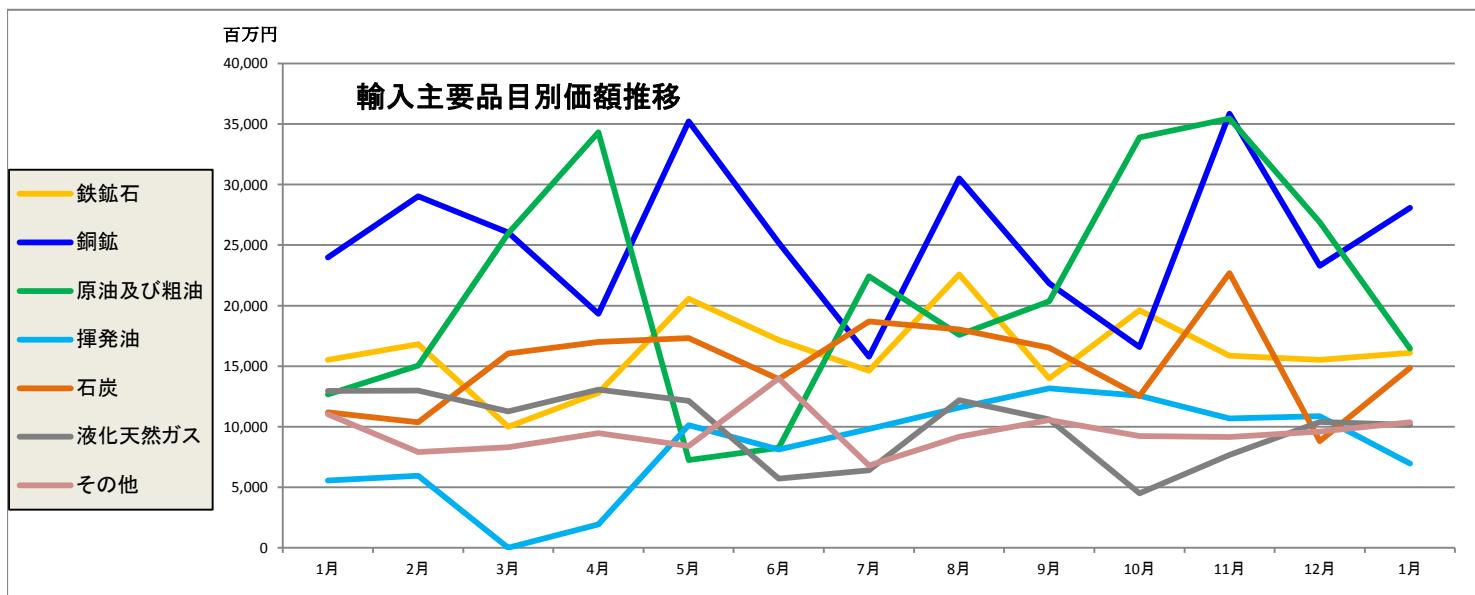
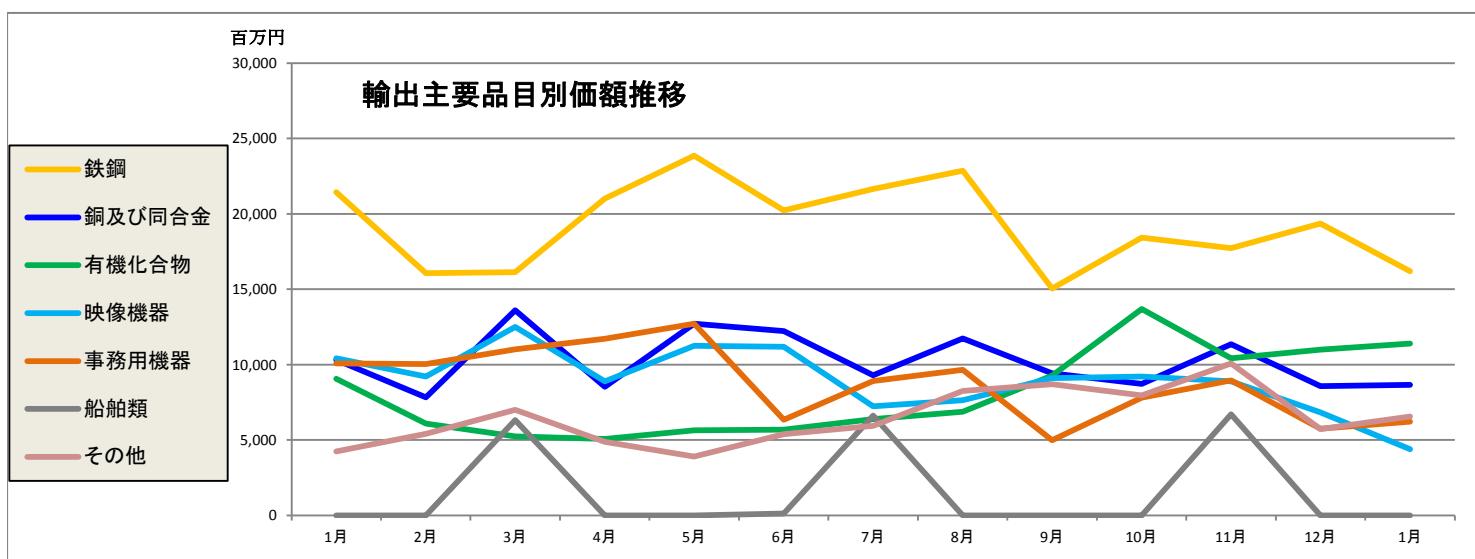
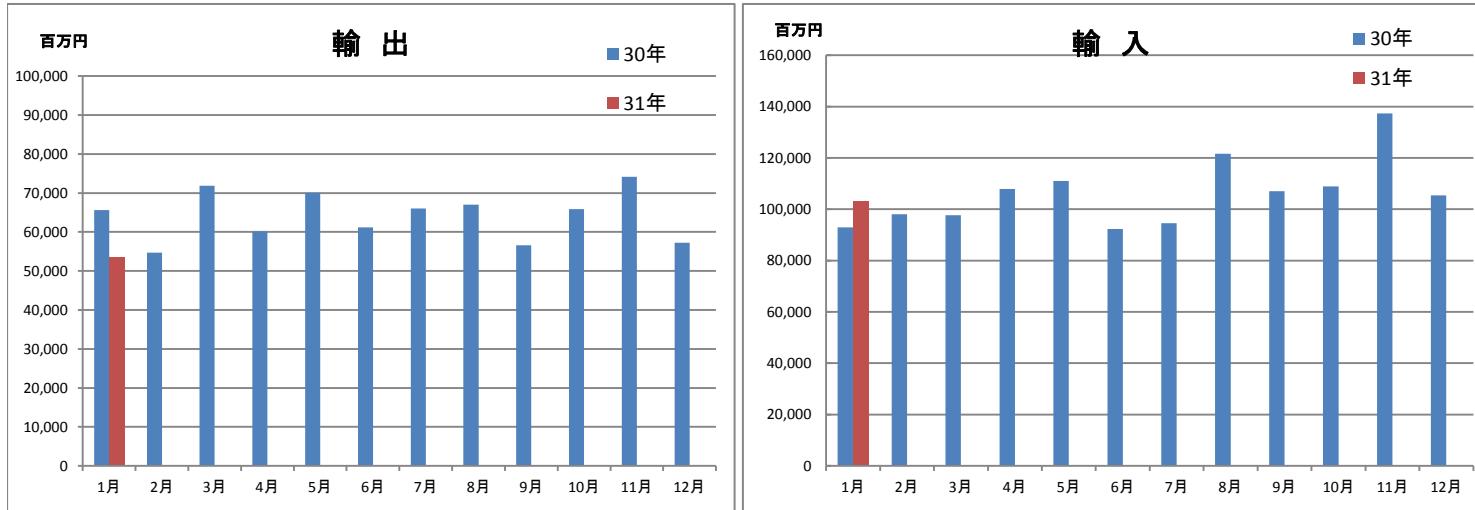
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額
大分(大分)	53,425	81.5 ↘	2か月連続のマイナス	102,976	110.9 ↗	2か月ぶりのプラス	入超	49,551
佐伯(佐伯)	3,836	115.8 ↗	3か月ぶりのプラス	1,309	99.6 ↘	2か月ぶりのマイナス	出超	2,527
津久見(津久見)	421	5.3 ↘	2か月連続のマイナス	224	36.0 ↘	3か月ぶりのマイナス	出超	197
大分空港(大分空港)	-	-		-	-		-	-
大分県	57,682	75.1 ↘	2か月連続のマイナス	104,509	110.2 ↗	2か月ぶりのプラス	入超	46,826

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>